

# 基盤整備で巨額投入へ

## 府市新年度予算案

大阪府や大阪市は2019年度予算案で、2025年度の大阪万博の会場建設費のほか、夢洲の整備費などを計上し、「カジノあり

返り」で巨額投入に踏み出す。夢洲のインフラ整備を担う市は、19年度から計954億円の整備費を投入する計画を発表。地下鉄中央線を夢洲まで延伸するために541億円、万博会場の埋め立てに136億円、上下水道の整備に132億

円を見込み、新年度予算案は57億7300万円を計上しています。

府市は24年度中のカジノ

開業を前提に、事業者の公募に向けた調査費3200万円、事業者選定委員会の設置・運営に215万円を計上。法律に基づく協議会の設置・運営に135万円を盛り込んでいます(いずれも府市で折半)。

### 税収は4年連続増

一般会計の予算規模は1兆8353億円(前年度比3.3%)増で、特別会計を含めた予算総額は3兆5729億円(同8.4%減)で、4年連続の増となっています。

巨大開発では「なにわ筋線」の事業促進2億200万円、淀川左岸線2期事業93億8900万円、同延伸部2億円など。うめきた2期事業関連で計123億800万円、国際コンテナ戦略港湾建設に46億2183万円などを計上しています。

### 独自テストを追加

市民生活関連ではことし10月からの消費税10%増税を前提に、上下水道料金などを11月分から引き上げる計画です。教育関連では、中学生を対象にした府の「チャレンジテスト」で対象外となっている、中学1年生の社会・理科について、市独自のテストを実施する「大阪出版チャレンジテスト・プラス」に1500万円を計上。すでに「テスト漬け」といわれる学校現場で、子どもたちをさらに競争に追い立てようとしています。

# カジノ万博「都」構想に固執

## 維新府・大阪市政が新年度予算案

### 大阪府

を計上します。

#### 防災関連で予算増

大阪府は18日、来年度当初予算案を発表しました。府立学校体育館への空調設備設置や学校ブロック塀の安全対策など、日本共産党の論戦や府民要求を反映した部分もあります。福祉医療費助成や子どもの貧困対策の予算はほぼ据え置かれるなど、全体としては府民生活を支えるには極めて貧弱です。一方で「大阪

221億円増)などが押し上げました。また10月の消費増税で109億円の税収増を見込みます。府債残高は6兆1552億円と前年度からほぼ横ばいです。

#### 学校体育館に空調

減。歳出では、バブル期の開発による借金返済が増え、公債費は前年から123億円増の3283億円です。国民の運動と国会論戦を一定反映した防災・減災のための国の事業の増加などで、補助事業費は47億円増の1085億円です。

「高度な都市インフラ形成」として、地下鉄な

#### 巨大開発に税投入

2月議会に合わせて提案される今年度補正予算案では、関西連絡鉄道の浸水対策や高槻市の大規模倒木の復旧なども盛り込みます。

#### 夢洲整備に57億円

当初予算案では市民運動と日本共産党大阪市政団の論戦で、地下街などの浸水・防水対策、南海トラフ巨大地震に備えた堤防などの耐震対策、中学校給食に対する就学援助を半額支給から全額支給への拡充(19年度2学期から)なども盛り込まれています。

### 大阪市

大阪府は18日、来年度当初予算案を発表しました。府立学校体育館への空調設備設置や学校ブロック塀の安全対策など、日本共産党の論戦や府民要求を反映した部分もあります。福祉医療費助成や子どもの貧困対策の予算はほぼ据え置かれるなど、全体としては府民生活を支えるには極めて貧弱です。一方で「大阪

大阪市の吉村洋文市長は14日、2019年度一般会計当初予算案を発表

しました。2025年の大阪万博の会場予定地を核とした統合型リゾート(IR)の誘致を狙う大阪湾の埋め立て地・夢洲

盤整備などに巨額の事業費を計上する一方、大阪市を廃止・分割する「大阪都」構想に固執し、市民生活を守る地方自治体